

水産多面的機能発揮対策事業

【令和4年度予算概算決定額 1,700 (1,800) 百万円】

<対策のポイント>

環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保など、漁業者等が行う**水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域の活動を支援**します。

<事業目標>

- 環境・生態系の維持・回復（対象水域での生物量を20%増加 [令和7年度まで]）
- 安心して活動できる海域の維持

<事業の内容>

<事業イメージ>

漁業者等が行う、水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する以下の取組を支援します。

1. 環境・生態系保全

① 水域の保全

藻場の磯焼け対策、サンゴ礁の保全、魚介類の放流活動、海洋環境調査等の活動を支援します。

② 水辺の保全

干潟、ヨシ帯の保全、内水面の生態系の維持・保全、漂流漂着物の回収・処理等の活動を支援します。

2. 海の安全確保

国境・水域の監視、海の監視ネットワーク強化、海難救助訓練等を支援します。また、これらの活動に必要な資機材の購入を支援します。

※ 上記1及び2に併せて実施する多面的機能の**国民に対する理解の増進**を図る活動組織を支援します。



藻場の保全（ウコの駆除）



漂流漂着物の回収・処理



食害生物の生息分布の把握等の調査



干潟等の保全（干潟の耕うん）



災害時の流木の回収・処理



国境・水域の監視

<事業の流れ>

定額 (1/2相当)

国



地域協議会（県・市・漁協等）

定額



活動組織

(1の事業)

定額

活動組織

(2の事業 (2の資機材の整備は1/2以内))

【お問い合わせ先】水産庁計画課 (03-3501-3082)

漁港機能増進事業

【令和4年度予算概算決定額 645（800）百万円】

（令和3年度補正予算額（水産業競争力強化緊急事業のうち漁港機能増進事業） 1,000百万円）

<対策のポイント>

漁港のストック効果の最大化を図りつつ、「海業」を振興し漁村の活力を取り戻すため、漁港の就労環境改善、安全対策向上・強靱化、資源管理・流通高度化に加えて、新たに漁港ストックの利用適正化、漁港インフラのグリーン化に資する整備を支援します。

<事業目標>

- 就労環境が改善された漁港の割合を増加
- 機能保全計画に基づき予防保全型の老朽化対策を早期に行う必要がある漁港において対策工事を行った割合を増加

<事業の内容>

漁港の機能増進を図るため、以下の施設整備等を支援します。

1. 省力化・軽労化・就労環境改善施設

浮体式係船岸、岸壁等の屋根、船揚場改良 等

2. 安全対策向上・強靱化

防波堤嵩上げ、防潮堤改良、荷さばき所等の電源施設の高架化及び非常用電源の設置、機能保全計画の見直し、災害後の土砂等の撤去 等

3. 資源管理・流通高度化施設

岸壁、荷さばき所等の衛生管理設備、出入管理設備、換気・浄化設備、冷凍・冷蔵設備、計量・計測設備、情報処理設備、密漁等監視施設 等

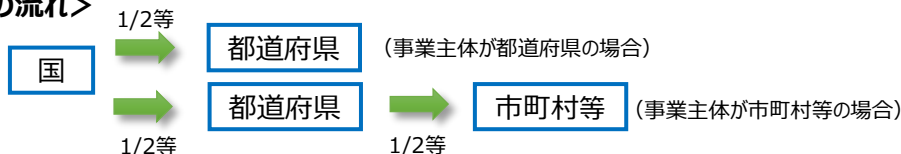
4. 漁港ストックの利用適正化施設

- ① 漁港ストックの利用適正化のための総合整備に関する調査、計画策定
- ② 漁港の機能再編のための漁港施設の規模適正化、用地の区画整理・整地 等
- ③ 漁港の有効活用促進のための防波堤潮通し、岸壁改良、用地舗装、陸上養殖用水・排水施設、漁港利用区分施設（出入管理設備、看板） 等

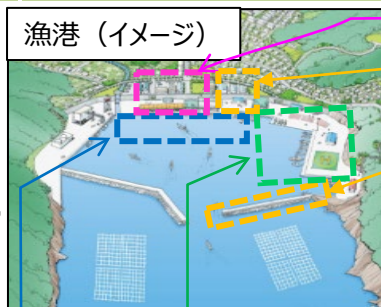
5. 漁港インフラのグリーン化施設

漁港におけるCO2排出削減のための給電施設、再生可能エネルギー利用施設（太陽光パネル等）、蓄電設備、送電線 等

<事業の流れ>



<事業イメージ>



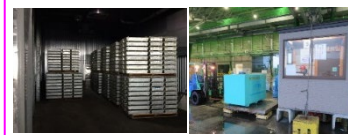
【安全対策向上・強靱化施設】

- 高架化による電源施設の浸水対策



【資源管理・流通高度化施設】

- 冷凍・冷蔵設備、計量・計測設備の導入による荷さばき所等の流通高度化



【漁港ストックの利用適正化施設】

【機能再編】

- 用地の区画整理、整地



【有効活用促進】

- 泊地の増深等による漁港での増養殖利用の促進
- 出入管理設備による漁港の利用区分



【省力化・軽労化・就労環境改善施設】

- 浮体式係船岸の整備による陸揚げ作業の軽労化



【漁港インフラのグリーン化施設】

- 給電施設の整備による漁船、冷凍トラック等のCO2排出削減
- 再生可能エネルギー利用施設による漁港施設のCO2排出削減



【お問い合わせ先】水産庁計画課（03-3506-7897）